



1930年頃のソウル市内



1920代のサムチョンドンの風景  
川辺では人々が洗濯をしているところが見えます。



風水的に良い位置にあたることから、李朝時代は高級官吏たちが住んでいたところで、昔ながらの韓屋（ハノク：韓国の伝統家屋）が密集しています。



婚礼の正常な方法は男側や女側が互いに対等な位置で最善の礼を尽くして行われる。このような婚礼の手続き意識が一つの規範で確立されて朝鮮時代の中頃から色々な礼書が出てきて婚礼式の典型になった。いわゆる四礼便覧という礼書が広く普及されて婚姻もほとんど儀式に習って行われる。事例便覧によれば議婚、納采、納幣、親迎順に進行される。



## 住生活2

### 伝統家屋の機能と構造



대청 테ーチョン (板の間)



방 반 (居間)



사랑 사라반 (客間)



부엌 ブオク (台所)



안채 안चे (母屋)



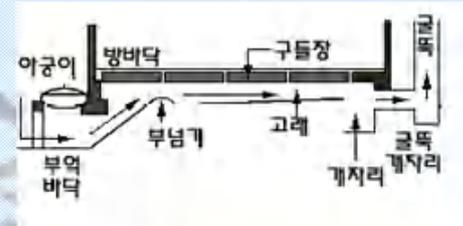
찬방 찬반 (倉庫部屋)



담 タム (塀)



문 ムン (門)



온돌 온ドルの構造(床下暖房)

母屋は門の入り口から一番中心に置かれ、普通は奥の間、板の間、向う部屋、台所、倉庫部屋に構成されている。母屋の奥の間は朝鮮王朝時代、上流社会の室内様式の象徴で、最も重要な位置にあり出産、臨終など大事がおきたとき女性達の活躍できる生活空間の場といえる。男性上位の時代に反映してか男性達の中に女性が入れないように制限したことで、このような構造配置ができあがったといえる。門は大門、中門、勝手口(ヒョムン)がある。塀は治安や威厳的にみせるため高く作られている。塀の壁には淡色の模様がつけられていて繁栄と幸福を願う意味があるそうです。

※オンドルの構造は辞書をひいて韓国語の勉強をしてください。